

## 令和5年度入学式 式辞

新入生のみなさん、入学本当におめでとう。

保護者の皆様方、お子様のご入学、誠にありがとうございます。これからの三年間、お子様が成長する中で、いろいろと悩むこともあるかと存じますが、お子様にとって有意義で充実したものとなりますよう、教職員一同、全力でサポートしますので、どうぞご安心ください。

さて、本校は、今年、創立100周年を迎える、歴史と伝統ある高等学校であり、多くの先輩方が、さまざまな分野で幅広く活躍しておられます。

皆さんは、その100周年という記念すべき年に入学されました。これを単なる巡り合わせに終わらせるか、あるいは、特別な気持ちでこの一年を過ごすかで、充実度も変わってくると思います。人は感情の動物であり、何事にも強い気持ちで取り組んだり、熱意ややる気をもって取り組んだりすることで結果も変わってきます。次年度からの新しい100年に向けても、皆さんは東高校のキーパーソンの一人であることは間違いありません。ぜひ目標を高くもち、その達成に向けて頑張ってください。

今、「巡り合わせ」と言いましたが、皆さんが今ここにいるのは、決して偶然ではありません。皆さんの意志でこの東高校を選択し、自らの思いと努力によって、非常に高い倍率を乗り越えて、本校で学ぶ機会を得たものであり、これは必然です。皆さんには、あらためてそのことを自覚し、自信をもって、これからの三年間、勉強や部活動に積極的に取り組んでほしいと思います。そして、先輩方に負けない豊富な知識と主体的に深く考える力、豊かな人間性を身につけてほしいと思っています。

そのうえで、本日は、入学にあたって、皆さんに心がけてほしいことを三つ伝えたいと思います。

一つ目は、「**授業は受け身ではなく、主体的に、深く考える時間**」にしてほしい、ということです。中学校では、例えば、一から十まで先生が解き方を説明し、それをそのまま覚えることが多かったかもしれませんが、しかし、高校においてそういう授業の過ごし方では、実力のもうひと伸びが期待できません。受け身にならず、主体的に、何事にも疑問を持ち、深く考えるということを意識してください。皆さんの「考える力」に期待しています。

二つ目は、「**人から応援される人になってほしい**」ということです。私自身、これまでにいろんな方を見てきましたが、人から応援される方は、少々失敗をしても周りが支えてくれます。そして、そういう方に共通する点は「誠実であること」、そして、「何事にも手を抜かず、一生懸命取り組み、常に感謝の気持ちを忘れない」という点です。今、皆さんがここにいるのも、ご家族や友人など、周りの方の支えや応援があったからこそだと思います。これからも、目の前のことに誠実に取り組み、周りから応援される人になってほしいと思います。

そして、三つめは、「**人とつながってほしい**」ということです。ここ数年、コロナ禍のた

め、人との距離を保つことが当たり前の世の中になってしまいましたが、やはり、人とつながり、いろいろな人の多様な考えに触れることは、人が成長するためには欠かせません。人と関わる中で、集団の中、チームの中、社会の中で、自分しかできない役割が見えてきます。

東高校では、「チーム東高校」を合言葉に、生徒・教職員が一致団結、協力し、学校行事等に取り組んでいます。皆さんの先輩たちは、それぞれが自分の役割を自覚し、創意工夫しながら、今できることに全力で取り組んでいます。その上級生たちに、私はいつも3つの『C』、すなわち「Challenge（挑戦しよう）、Connect（人とつながろう）、そして Change（自分を変えよう）」と話しています。皆さんにも、同じ気持ちで毎日を過ごしてほしいと思っています。

あらためて、皆さんを、チーム東高校の一員として歓迎します。本日の出会いに感謝するとともに、皆さんが、高い志と向上心をもって、たくましく前進していく姿を楽しみに、そして、一人ひとりの3年後に期待して、本日の式辞といたします。

令和5年4月10日

大阪府立東高等学校  
校長 寺本 圭一